

2020年6月24日

愛媛県議会  
議長 戒能 潤之介 様

請願者

住所 松山市三番町 5-2-3 ハヤシビル 3F

団体名 伊方原発をとめる会

事務局長 草薙順一

紹介議員

武井多佳子

田中克彦

菅 森実

浅湫和子

(提出分はご本人自筆。順不動)

## 被ばくと新型コロナ感染を避けるために 伊方原発の廃炉を求める請願

### 【請願趣旨】

災害時の避難と国が進めている新型コロナ感染予防の「三密」回避策が問題になってきます。原発事故に新型コロナウイルスなどの感染症が重なると、住民は被ばくの危険のうえに、避難の過程で感染の危険に直面します。

原発事故が発生すると被ばくを避けねばなりません。急いで放射能の及ぶ地域から離れる過程では、外気から切り離された空間に身をおくことも避けられません。原子力防災訓練が毎年行われていますが、実際の避難となれば、避難するバスや船などの乗り物も、エアドームや避難建屋においても、「三密」状態になることが必定です。住民にとって被ばくを確実に避ける手段がない現実を考えると、被ばくしてしまう上に感染まで被るということは断じて許されません。

だれも巨大地震や感染症などの発生を根絶することはできません。しかし、原発をとめて廃炉にすることはできます。今、この選択が求められています。

伊方原発に極めて近い位置に中央構造線の活断層帯が走っている可能性が指摘されており、火山影響と併せて、広島高裁は伊方原発の運転を差し止めています。絶対に原発事故が起きない保障はないままです。

ついては、以下の点をお願いいたします。

### 【請願事項】

原発事故の被ばくと避難時の新型コロナ感染を避けるために、伊方原発をとめたまま廃炉に向かわせて下さい。